岡崎市長 殿

岡崎市議会議長 加藤 義幸

おかざき未来“夢”プロジェクト 子ども子育てラウンドテーブル「提言書」

このたび岡崎市議会意見交換会検討部会を立ち上げ、『おかざき未来“夢”プロジェクト 子ども子育てラウンドテーブル』と銘打ち、岡崎女子大学・短期大学との連携による意見交換会を平成30年10月3日に実施した。

国においては「子育て安心プラン」を2年前倒し、保育の受け皿の整備と保育人材の確保を進めるとともに、平成31年度からの幼児教育・保育の段階的な無償化の実施となる中、今後の本市における子ども子育て環境整備の基礎となる、次期「おかざきっ子育ちプラン」策定にむけて、岡崎市議会と大学とのグループ討議を通じて得られた内容をまとめ、担当部局への「提言書」として提出するものである。将来を見据えた政策づくりに努められたい。

『これからの本市の 子ども子育てについて』

(1) 保育需要と好適空間

～大人も子どもも安心な保育環境とは～

時間外保育を含めて、子どもを預けやすい温かい雰囲気、そして(子どもの視点に立って)子どもが落ち着ける空間づくり・環境づくりに努められたい。

- 少人数保育、時間外保育の環境整備
- 子どもを預けやすい落ち着ける雰囲気づくり
- 子どもたちにとって安全・安心な好適空間整備

(2) 保育の質とキャリアアップ

～子ども理解を深め続けるには～

子ども・保護者・保育者など保育施設に係る人、全てが『行きたい』と思える保育施設にするために、正規保育士を充実させるとともに、他園見学や保育者意見交換会などを充実させ、保育者のスキルアップ・事務的作業の負担軽減を図りながら保育の質を上げるよう努められたい。

- 子ども・保護者・保育士が行きたい保育施設
- 保育と仕事の両立がしやすい環境整備
- キャリアアップ研修の充実(他市・海外)

3つの視点はすべて繋がっている

バランスが大切!

- 子育てしやすいまち
- 若い人にとって住みやすいまち
- 大学と岡崎市、市議会との連携

(3) 人材確保と処遇改善

～働き続けたい職場とは～

保育者の人材確保をするために、正規職員を充実、安全安心の観点から男性保育士の充実を図りながら処遇の改善に努められたい。また、保育者自身が仕事と家庭を両立しやすい環境の整備に努められたい。

- 保育士への育児支援(育児と仕事の両立)
- 処遇改善(給与・休暇の平等・労働時間等)
- 正規保育士の確保と充実(男性保育士の確保)